

東日本国際大学附属

昌平高等学校 通信制課程 2020年度から学費改訂

私立高校無償化に最適化

年収590万円未満のご世帯なら



学費0円



※新学費制度は、2020年4月以降の入学からの適用です(2020年3月までの入学者は、これまでの学費制度を適用)。学費0円は、年収590万円未満の世帯で就学支援金適用の場合です(支給上限48カ月・74単位)。会津学習支援センターの所属生徒は、サポート校の学費が別途掛かります。



通信制の私立高校って学費の仕組みがとても分かりにくい。国から「就学支援金」が出て、ほとんど掛からないと期待していたのに、実際に払う時に、思った以上の出費で驚くことがあるようです。

一般に私立の通信制では「授業料」以外に「入学金」「教育充実費」「施設設備費」など様々な負担が求められます。「就学支援金」が適用されるのは、このうち「授業料」部分だけです。結果として「授業料」以外で何十万円もの負担になることもあります。



でも、大丈夫ですよ。国の政策で2020年度から「私立高校の実質無償化」が始まると聞きました。年収590万円未満の世帯なら「就学支援金」の支給によって無償化されるんですよ。

ただ、この場合も「就学支援金」が適用されるのは「授業料」部分だけです。だから、本当に経済的支援を必要とする世帯が、その恩恵を十分に受けられるとは限らないんです。



えっ、結局、負担が大きいままかも。どうすればいいんでしょう？

昌平高校通信制課程では、こうした世帯の様々な声を踏まえて、2020年4月以降の入学者を対象に納付金の改訂を行います。



今は、①「入学金」0円、②「授業料」8,000円(1単位あたり)、③「教育充実費」10,000円(年額)、④「施設充実費」20,000円(年額)ですね。どう変わるんですか？

それが①「入学金」0円、②「授業料」9,600円(1単位あたり)、③「教育充実費」0円、④「施設充実費」0円に変わります。年収590万円未満の世帯で「就学支援金」適用の場合、納付金0円が実現します。



すごい！無償化のメリットを全面的に受けることができるんですね。その分、別の勉強に挑戦できるかも。

昌平高校通信制課程は、これからも、みんなの「学びたい」思いに応える、地域No.1「学びやすい」高校を、さらに力強く追求していきます。

昌平通信は、1人1人の「学びたい」を応援します！

東日本国際大学 附属昌平高等学校 通信制課程 学費新制度について

- 昌平高等学校通信制課程では、2020年4月から実施される国の「私立高等学校授業料の実質無償化」に合わせて学費の仕組みの改革を行います。これによって、年収590万円未満の世帯で学費0円が実現することになります。
- 私立高校の「授業料」に対しては、各世帯の収入に応じた「就学支援金」が国から支給されています。2020年4月からは、「私立高等学校授業料の実質無償化」の方針のもと、この「就学支援金」の支給上限額が引き上げられます。通信制高校の場合、支給上限額は、年収590万円未満の世帯で年間29万7,000円まで、年収590万円以上910万円未満の世帯で年間11万8,000円までとなることが決まっています（年収は目安であり、実際には、市町村民税等の所得割の課税標準額から算定されます。生計維持者や子の数によっても異なります）。
- ただし一般的に私立の通信制高校では、「授業料」以外に「入学金」「教育充実費」「施設設備費」などの名目で様々な費用負担が求められます。学校ごとに異なりますが、多くの場合、「入学金」が入学時に1～10万円、「教育充実費」「施設設備費」が合わせて年額2～10万円程度となります。この部分は、「就学支援金」による支援の対象にはなりません。
- 昌平高等学校通信制課程では、これまで①「入学金」0円、②「授業料」8,000円（1単位あたり）、③「教育充実費」10,000円（年額）、④「施設充実費」20,000円（年額）としてきました。2020年4月からは、「私立高等学校授業料の実質無償化」に全対応し、新規入学者を対象に①「入学金」0円、②「授業料」9,600円（1単位あたり）、③「教育充実費」0円、④「施設充実費」0円に改訂します。①③④が0円ですので、納付額は、標準的なケースの場合、 $(\text{「授業料」} - \text{「就学支援金」}) \times \text{「履修単位数」}$ となります。その結果、年収590万円未満の世帯では年間0円、年収590万円以上910万円未満の世帯では「就学支援金」は4,812円（1単位あたり）ですので納付額は $4,788円 \times \text{「履修単位数」}$ 、年収910万円以上の世帯では「就学支援金」が支給されませんので納付額は $9,600円 \times \text{「履修単位数」}$ となります。
- 昌平高校通信制課程は、学びと成長のチャンスをできる限り多くの人々に広げるために、これからも様々な改革に取り組んでまいります。

年収目安(両親の課税額から算定)	～590万円	590～910万円	910万円～
入学金	0円	0円	0円
授業料(1単位あたり)	9,600円	9,600円	9,600円
就学支援金(1単位あたり)	—9,600円	—4,812円	0円
教育充実費	0円	0円	0円
施設充実費	0円	0円	0円
1年間の納付金は (授業料-就学支援金) ×履修単位数	0円	4,788円 ×履修単位数	9,600円 ×履修単位数

※就学支援金の支給額は、新規履修の場合と前籍校からの継続履修の場合で異なります。また48カ月・74単位という支給限度があります。上記の説明は、全て新規履修で就学支援金の支給限度内のケースを想定したものです。

※上記の納付金以外に、①教科書代4,000円～6,000円（履修科目によって異なります）、②実習の参加費（実習のある科目を履修した場合です）2,000～5,000円、③日本スポーツ振興センター災害共済及び高体連加盟費・諸会費2,000円が必要となります。また、会津学習支援センターの所属生徒は、サポート校の費用が別途掛かります。

※40歳以上のシニアの方は、「授業料」6,000円（1単位あたり）となります。